

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773700469		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとぴ庵摂津・千里丘		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	摂津市千里丘東1-13-7		
自己評価作成日	平成22年 4月1日	評価結果市町村受理日	平成22年6月14日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaioghoken-kohyou.jp/">http://www.osaka-kaioghoken-kohyou.jp/</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8号-102
訪問調査日	平成22年4月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎年ではありますが地域行事や地域の防災訓練に参加し、地域との関わりを大切にしています。新しい試みとしては、摂津市地域福祉課、地域ボランティア、介護者家族の会、ご家族様と第1回ゆうとぴ庵回想法(心理療法)を8週間に亘り実施してまいりました。参加者には地域の介護が必要な方、その方々のご家族も出席されるなど、地域の方との交流からゆうとぴ庵への入居検討をされる方もいらっしゃいます。今後も地域性にも恵まれた当施設の特徴を活かし地域にひらかれたアットホームな施設を目指します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

JRの駅すぐ近くという交通の便利な地にあり、近隣にはスーパーや商店・公園などが存在し周辺環境にも非常に恵まれたグループホームである。地域と共に支え・支えられる関係を大切に、管理者・職員は地域と密着したサービスの提供を常に意識した支援を心がけている。今年度の新しい取り組みとして、行政や地域ボランティア・介護者家族の会・ご家族の方々との連携のもと、第1回ゆうとぴ庵回想法の講座を開催し、地域住民をはじめ多方面からの参加があり関心も高く、今後も講座の継続的な開催を予定している。利用者の日常の健康管理については、建物1階の協力医療機関であるクリニックとは定期的な往診や必要時に適切な指示・助言をもらえるような連携が取れている。また、重度化や終末期に向けたホームの対応方針を明確にし、24時間対応可能な医療連携体制を充実させ、利用者の安心・安定した生活が維持できるよう支援体制の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念共有のため詰所などに掲示し全職員が意識を持ち実践に繋げています。</p>	<p>「よりよい介護」「感動ある介護」の基本理念を大切に、地域密着型サービスとしての果たすべき役割を反映させた方針を8項目掲げている。理念は玄関やホーム内の事務所に掲示するとともに、年間研修計画の中に位置づけ、新人研修や現任研修で学び、意識付けがなされている。また、定期的に会議で話し合い、日々のケアに具体化されるよう取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域行事への参加、地域ボランティア活用、地域の方も参加していただき回想法なども実施しています。</p>	<p>地域自治会に加入し、ガレージセール・地域行事等への参加にて地域住民との交流の場がある。地域貢献活動としてAEDの設置や子ども110番の登録など積極的な取り組みがある。今年度の新しい試みとして、行政・社会福祉協議会・地域ボランティア・介護者家族の会・家族等との連携のもと、ホーム内で第1回ゆうとび庵回想法を開催し、近隣地域にも案内し多くの方の参加があった。</p>	

3	<p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>入居者様と地域の方々とで茶話会など行い理解を深めていただくなど取り組んでいます。</p>		
4	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度は開催しご意見等をいただき活用させていただいています。</p>	<p>運営推進会議は2カ月に1回の定期的な開催が継続され、利用者やご家族・自治会長・地域包括支援センター職員等の参加がある。ホームからは年間行事報告・職員異動状況・研修実施報告・ボランティアの現状等について伝えられ、地域包括支援センターや自治会からの情報提供や意見交換の場があり、サービスの質の向上に活かせるよう取り組んでいる。</p>	
5	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営上での相談や市町村、地域住民と協力して心理療法の開催などを行っています。</p>	<p>ホームの運営面やケア面での課題解決に向け、相談や助言をもらう等協力関係を構築している。行政や地域との連携のもと、ホーム内で回想法の講座の開講が実現し、多方面からの参加も多く今後も継続される予定である。</p>	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践                  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束について研修を行い日常のケアで実践しています。</p>	<p>定期的に研修を実施し身体拘束について基本的な考え方を学んでいる。また、ミーティング等で日々のケアを振り返りながら、身体拘束のない介護サービスの提供について話し合っている。ユニット毎にマニュアルを整備し、常に意識した対応ができるよう取り組んでいる。利用者の安全面に配慮し玄関は施錠している。利用者に圧迫感を感じさせないように、フロア間での自由な行き来や個々の思いに沿った外出ができるよう支援している。</p>	<p>利用者の心身の状態や安全面に配慮しながらも、利用者の自由な暮らしを支えていくために、今後も施錠について職員間で話し合いを継続させ、運営推進会議や家族会等でも改善への取り組みについて広く意見を聴いていく事を期待する。</p>
7		<p>○虐待防止の徹底                  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修やミーティングなどで学び意識を持って取り組んでいます。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用                  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各会議を通じて学ぶ機会を設けています。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得                  契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>その都度に時間をかけ、誤解の無いよう対応しています。</p>	/	/

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会や運営推進会議、意見箱などで積極的に意見を取り入れるようにしています。</p>	<p>月1回のホーム便りや近況報告を郵送し、利用者の暮らしぶりを家族に報告してる。家族が意見や要望を伝えやすいよう面会時や家族会・運営推進会議等で働きかけ、また、意見箱を設置し活用を勧めている。出された苦情・相談について、職員はリーダーや管理者と改善策を検討し、必要時は記録に残し共有に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>各会議で意見・提案を聞く場を設け、改善に向けての取り組みを行っています。</p>	<p>職場内は職員が自由に意見を言える雰囲気大切に、日常の業務の中や会議等を通じて意見・要望を出し合い話し合う機会を作っている。法人内の異動は最小限にするよう取り組み、ユニット間の異動も利用者との馴染みの関係継続のために少なくしているが、情報交換は密に行い、利用者のニーズの変化に適切に対応できるよう取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員のスキルアップや資格取得に伴う手当等の設定にて就業関係の改善に努めています。</p>	/	/

13	<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員に合った研修受講や全職員対象に内部研修も行っていきます。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>施設間の情報交換や施設見学、施設内行事への参加などを行っています。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面談を行いご本人様の思いを確認しながら関係作りを努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人様同様に面談を行い望まれている生活の実現に向けて話し合っています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図る事により対応に努めています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護だけでなくお互いが信頼できる関係が築けるよう毎日のコミュニケーションを図っています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様に気づいたこと感じたことなど話していただく環境を意識して作り、関係を築くようにしています。</p>		

20	8	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>お友達などいつでも気軽に遊びに来ていただいています。</p>	<p>利用者・家族等の情報から、本人のこれまでの人間関係や生活歴を把握し、関わりが今後も継続できるよう支援している。親しかった方が気軽にホームを訪れたり、散歩など外出時に知り合いの方の挨拶や声掛け等の機会もある。家族の協力を得ながら、それぞれの利用者にとった個別の対応に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士での関係を良好なものにできるよう支援しています。</p>	/	/
22		<p>○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も気軽にご相談いただいたり、転居先への訪問など関係の継続に努めています。</p>	/	/

**Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント**

23	9	<p>○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎日の生活の中で自己決定できるよう支援しています。困難な場合も本人本位を意識して検討しています。</p>	<p>利用者・家族から得た情報は、フェイスシート・発症経過シート・焦点情報表などの様式を活用しまとめられ、利用者の心身の状態や意向・要望等の把握に努めている。入居後も利用者と日々接する中で、個々の思いや意向の変化を見逃さないよう努め、記録に残し活用できるよう取り組んでいる。</p>	
----	---	---	---	---	--

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>本人様、家族様などからこれまでの暮らしについて伺い反映できるようにしています。</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>穏やかな生活ができるよう、出来る事、出来ない事を考え現状の把握に努めています。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月ミーティングを行い、今必要としているケアは何か、長期的な目標は何かを検討して作成しています。</p>	<p>利用開始時に得られた情報を参考に、ケアプラン委員会で検討し、利用者・家族の意向が反映された介護計画を作成している。ケア実施表を使って日々のケアを振り返り、計画にそった支援ができてきているか確認している。毎月のフロアミーティングでモニタリングし、ケア実施表も参考に評価を行っている。利用者に状況の変化があった場合は適宜介護計画を修正し、安定している場合も3カ月に1回は計画の見直しを行っている。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人日報、ケア実施表、申し送りなど情報の共有に努め意見を出し合っています。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療機関への通院や介護用品の一時使用等の取り組みを行っています。</p>		



29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事への参加やボランティアの受入れ等にも取り組んでいます。</p>		
30	<p>11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診及び通院時の対応など希望に沿った支援を行っています。</p>	<p>医療連携体制を導入し、24時間体制で利用者の健康管理や医療的支援を行っている。建物1階にあるクリニックが提携医となっており、週に3回の往診や訪問看護の活用等にて協力関係を築いている。また、利用者・家族が今までのかかりつけ医等への受診を希望すれば対応できるような体制も整えている。</p>	
31	<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>定期的に入居者様の状態を相談し個別の情報を共有しています。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院される場合は医療機関に情報を伝え早期退院に向けて相談しています。</p>		

33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援                  重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前と契約時には家族様に当施設方針を説明し同意をいただいています。</p>	<p>重度化や看取りについて、ホームとしての支援の指針を文書化し、入居前と契約時に利用者・家族に説明し同意を得ている。利用者の状況変化にそって、家族・医師・職員間で方向性の統一のために話し合いを重ねている。ターミナル期の利用者への支援時に、他の利用者への影響にも配慮し不安を与えないような対応を心がけている。定期的に研修を実施し職員の意識向上を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え                  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に救急救命などの研修を行い、緊急時に備えています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策                  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を定期的に行い、地域の訓練にも参加し協力体制の確保等に取り組んでいます。</p>	<p>年に2回夜間発生も想定した避難訓練を実施し、利用者の参加の機会もある。自治会との協力体制も整い、地域で実施される避難訓練に参加し連携を図っている。運営推進会議で訓練状況等を報告し、災害時の協力を依頼している。</p>	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報の管理の徹底や職員の雇用契約時に誓約書を交わしています。</p>	<p>職員は理念や基本方針にそって、ご利用者の自尊心と人生を尊重し支援していくことを大切に、言葉かけや対応が利用者のプライバシーを損ねないよう努めている。雇用契約時、職員と誓約書を交わし個人情報の保護の徹底に努めている。職員はプライバシーの保護について研修を受講し、定期的に確認し合い認識を深めている。</p>	<p>今後は更に倫理や法令遵守の研修の中でも、個人情報保護法など法令の順守や、高齢者の尊厳や権利を守る為のプライバシーの確保について学んでいくことを期待する。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人様の意向を伺い思いを表していただけるよう取り組んでいます。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事や入浴など一定の流れはありますが個々のペースで生活ができるよう柔軟に対応しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>ご希望にあった身だしなみができるよう整容など支援しています。</p>		

40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様の希望をメニューに反映し、食事の準備や後片付けなど無理のない範囲でお手伝いさせていただきます。</p>	<p>カロリーや栄養バランスに配慮された献立表をもとにホーム内で調理し、利用者に食事提供されている。食事委員会を中心に、個々の利用者の状態に配慮した食形態・食環境について検討し、適切な食事支援を行っている。季節等に配慮したイベントメニューや外食などを適宜採り入れ、食事が楽しみとなるよう工夫している。食事作りの一連の流れの中で配膳や後片づけ等を一緒に行い、個々の利用者の力が発揮できるような場面作りができています。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>カロリー栄養バランスに配慮した献立を提供し個々に応じた形での提供を行っています。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアを支援し必要に応じて歯科受診もしていただいています。</p>	/	/

43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレで自立した排泄ができるよう誘導やパターンの把握など行い、できる力を支援しています。</p>	<p>個々の利用者の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄など自立に向けた排泄支援に取り組んでいる。排泄チェック表を活用し、個々のパターンにそって前誘導を行い、それぞれに合った声掛けや対応の工夫がなされている。夜間は個々の能力や安全面に配慮し、ポータブルトイレを活用する場面がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>体操や水分摂取などに注意して予防に取り組んでいます。</p>	/	/
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>体調面に注意しながらできる限り一人ひとりの希望に応じ対応しています。</p>	<p>入浴日や時間は、利用者の状態に配慮しつつ、希望にそった入浴になるよう取り組んでいる。入浴拒否の方への対応は、声掛けの工夫や時間を変更して勧める等の働きかけがなされている。状況に応じて同姓介助やさりげない見守りなど工夫し、プライバシーに配慮した支援を行っている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりに合わせて睡眠時間や休憩時間に配慮しています。</p>	/	/

47	<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>申し送りやミーティングなどでお薬について情報を共有し理解を深め適切な使用を行っています。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日の生活の家事手伝いやレクリエーションなどで一人ひとりが好まれる暮らしを支援しています。</p>		
49	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>希望に沿えるよう家族様とも相談し外出の支援行っています。</p>	<p>年間行事の中で外出の機会を採り入れると共に、近隣のスーパーや商店街での買い物・散歩等、気軽な外出の機会を作っている。個別の外出の希望等には家族の協力も得ながら対応していくよう取り組んでいる。利用者の心身の状態に配慮しながら、テラスで過ごしたり屋上で日光浴などの支援も行っている。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>原則、金銭管理は職員が行っています。但し、買い物など希望に応じて自由にしています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでもご希望に応じてできるよう取り組んでいます。</p>		

52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔で落ち着いた空間になるよう取り組んでいます。</p>	<p>共有空間は明るく清潔感があり、フロア内は季節の行事に合わせて装飾の工夫がなされ、利用者が四季の移り変わりを感じながら穏やかに過ごせるよう配慮されている。また、ユニット毎に職員と共に創った作品や行事での写真等を飾り、利用者と職員が楽しみを共有しながら過ごせる空間作りがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりのプライバシーに配慮して気持ちよく過ごせるよう工夫しています</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具を持ち込んでいただいたり好みに沿ったご利用をいただいています。</p>	<p>利用者や家族と話し合い、本人の気持ちを尊重しながら支援している。使い慣れた家具や仏壇・利用者の趣味の作品等を持ち込み、その人らしい安らぎが得られる環境作りがなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>できること、わかることの力が活かせるよう標識や手すりなど環境作りに取り組んでいます。</p>	/	/

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない



65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない